

## 鵜南みどり会 2023 年度総会での会長あいさつ文

鵜南みどり会会員の皆様、会長の田川です。皆様には日ごろから大変お世話になっております。さて、新型コロナウイルス感染症は3年が経過し基準の見直しなどで日常生活も変わってまいりました。

昨年4月の年次総会はこの市民センターのホールで行う事が出来ましたが、厳しい条件下での実施となりました。恒例行事であります地引網は何とか行えましたが、施設見学ツアーをはじめとする多くの事業を延期、変更せざるを得ませんでした。

このような状況下において、広報部を中心にデジタル技術を導入し、情報化に取り組んで参りました。具体的にはネット通信の利用による一部回覧版のデジタル化、町内会ホームページのリニューアルやメールの活用により、広報や情報伝達を強化し、みどり会会員の皆様及び役員間のコミュニケーションを向上できたことは特に有意義だったと思います。しかし高齢の方からは、IT化に偏るとなかなかついてゆけなくなるというお話もあり、「誰一人残さない」ことを目標に、従来通りの回覧も継続してまいりました。

「日ごろから安全・安心の暮らしが出来る町とは何か」を考えたとき、第一は、災害時での対応・防災活動ではないでしょうか。災害が起こったとき、まずは自身の安全、我が家の災害への備えの充実だと思います。そして自分が大丈夫なら、次に隣・近所は大丈夫かという、安全確認ではないかと思います。私どもは「互近助力」というキャッチフレーズを設け、防災活動を行ってゆきたいと考えております。そして町内を4つのブロックに分け、その下に班を設けるという自主防災会を充実させたいと思っています。

防犯部では毎月の夜間と昼間のパトロールを行い、町内の見回り活動を行ってきました。また防犯カメラも増設し、防犯活動に役立っていると思います。町内の安全安心活動のため、どなたでも結構ですので、皆様の防災活動への参加をお願いします。

住民協定運営委員会では、会議・勉強会を毎月2回、合計24回開催し、審議した案件は19件となりました。また、一昨年より取り組んできた景観形成基準(案)の作成は、鵜南みどり会地域の景観の改善・維持を図り、住みよい、住みたい街づくりのため、藤沢市の景観形成地区の制定を目指しています。

さて、鵜南みどり会は4月1日現在で加入世帯数が1,050世帯で、鵜沼地区では大きな自治会と言えます。町内会には若い世帯の入会も目立っておりますが、以前からお住いの方々の高齢化もあります。皆様には、ぜひ近隣の子供さん、そして高齢者の方々とのコミュニケーションを心がけていただけますよう、お願いいたします。町内会は会員の皆様で作上げてゆく組織です。今回役員の変更がりましたが、役員の高齢化もあり、役員の人数が大幅に減少しました。少ない人数では行う催し物や、活動も制限されます。この機会にこれはお手伝いできるという方々を大幅に募集したいと思っています。是非とも皆様のご協力をお願いいたします。

今後とも皆様からの町内会活動に関する疑問点や問題点について、活発なご発言をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。